知っと〜文房具

こんな重宝な

其の壱

「切手」が郵便料金の前納システムとして初めて稼働したのは1840年のイギリスであった。これに移行する直前の制度は、利用者が郵便局に手紙を持って出向き、郵便料金を窓口で直接払っていたのである。

今日、何気なく利用している「切手」システムのお陰で、私たちは郵便局の営業時間にしばられることなく、書いた手紙を近くのポストに24時間投函できるのである。

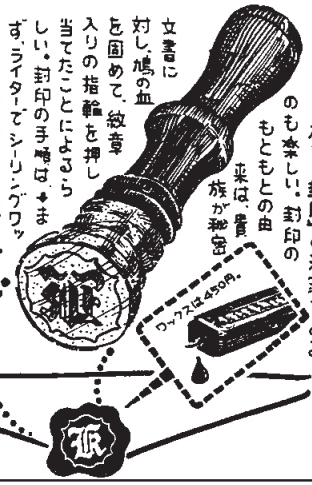
ところがどっこいである。今日の日常においても、定形外の封筒を使ったばあいや80円切手で送ることのできる重さを超えるおそれのある郵便物については専用のハカリで計量しないと、その料金がわからない。結局、わざわざ郵便局の窓口へ行ったりなんかして……。こんな経験ってありませんか?!

このチョッとした計量に便利なのが、この「ポストマン」。クリップに書状を吊るし、目盛りが指し示す重量分の切手を貼って、ポストへ投函。携帯サイズなのも嬉しい。

➡この「ポストマン」を20名様にプレゼント。ハガキに住所、氏名、広告に対するご意見を記して、JP・カワバタ「ポストスケール係」まで。締切りは12月14日の消印まで有効。

商品発送が発表。

さて、手紙といえば「プライベートなものなら「封印」と洒落てみるのも楽しい。封印のもともとの由来は、貴族が秘密文書に対し、鳩の血を固めて、紋章入りの指輪を押し当てたことによるらしい。封印の手順は、➡まず、ライターでシーリングワックスを溶かし、封の箇所にポタポタ垂らす➡2〜3秒おいて金属印を封上の溶けたワックスに押し、静観。➡10秒ほどしてワックスが冷えた時点で金属印をはずす。



このタイミングは習得に少々の熟練を要すが、慣れると、楽しい締めの儀式にも……。

金属印部分は600円、軸は木製が500円、(金属製で1200円。

(絵と立・富山祥瑞 19 1996)

創業80周年記念
あったらいいな
『文具コンテスト』
アイデア募集
詳しい募集要項は1月中旬掲載予定の西日本新聞(広告)をご覧ください。

おかげさまで創業80年
株式会社ノア・カワバタ

文房具、選べる楽しさ30,000点。

SMALL OFFICE
SOHO
HOME OFFICE

SOHO姪浜店
福岡市西区姪浜688番-1 ウエストコート姪浜レジャービル

広告

株式会社 ノア・カワバタ／〒812 福岡市博多区中呉服町1-25 NOAKビル ☎092(291)1165

チェーン店 ●サンプラザ店 ☎092(431)6021 ●空港ビル店 ☎092(621)2720 ●SOHO姪浜店 ☎092(884)2000 ●博多川端文具 ☎092(411)8601

只今マイプリント年賀状カラー印刷承り中 ※お年玉付き年賀はがきは弊社でもご用意できます。